| 学校番号 | 323 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | (学) ライフデザイン | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 家庭科５５デジタル＋　(教育図書) | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭基礎で学んだ知識・経験をもとに、より深く、実践的に学んでいきます。
自らの家庭生活に関心をもち、家庭や地域の生活をよりよくするため、積極的に取り組みましょう。
自ら課題を見つけて、問題解決できるよう、実習、体験学習、調査・研究などの調べ学習を通して、周りの人と共有し、多様な考え方を学び、認め合い自分の考えを深めましょう。グループワークや発表をすることで他者理解を深め、自らの生活に活かしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基礎的な知識・技術をもとに実践的な実習を通じて、幅広い生活技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
自身や家族の家庭生活を健康で快適に営むために、問題解決できるよう考え、行動する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的につくるために必要な力について考え、将来を見据えたライフワークの目的意識をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて理解し、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する技術を身に付けている。 | 家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざし実践し、評価・改善して考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | より良い社会の構築に向けて、様々な人々と協同し、自主的に地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族・地域の生活課題の解決を図るよう意欲的に学習に取り組んでいる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 食生活をつくる | ○食品と栄養<br>○食品の選択と安全<br>○食事計画<br>○調理実習・調理実験 | a:各食品の特徴と選択について実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付け、生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な調理、食品衛生等の技術を身に付けている。<br>b:食事と健康、安全に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br><br>調理実習<br>調理実験 | レポート | ワークシート<br><br>発表 |
| 2 | 自立に向けて | ○ライフステージと家計<br>○求人票・明細書を読み取る<br>○消費・契約・支払い<br>○ライフステージに応じた住まい | a:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付け、消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。<br>b:自立に向けた経済の計画・管理について、考え、工夫している。<br>c:自らの消費生活や、現代に特徴的な消費の在り方に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 | 定期考査 | レポート | ワークシート<br><br>発表 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 家族と法律 | ○家族と法律 | a:家族の法律について理解し、家族の機能の変化や権利・義務、民法の改正についての知識を身に付け、人生の中での家族の変化に対応する技術を身につけている。<br>b:家族の法律・民法の改正について、課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:家族の法律・民法の改正について、関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 | 定期考査 | レポート | ワークシート<br><br>発表 |
| | 子どもと共に育つ | ○保育環境<br>○子どもの権利と福祉<br>○被服実習(保育) | a:子どもの保育環境・権利について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付け、製作実習を通して子どもと適切に関わり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。<br>b:子どもの保育環境・権利について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:子どもの保育環境・福祉について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br><br>被服実習 | レポート | ワークシート<br><br>発表 |
| 3 | 子どもと遊び | ○子どもと遊び<br>・絵本の読み聞かせ<br>○保育製作 | a:子どもの保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付け、子どもと適切に関わることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。<br>b:子どもの保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:子どもの保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 | 保育実習<br><br>製作作品 | レポート | ワークシート<br><br>発表 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | これからの生活を想像する | ・自立し共に生きるために | a:これからの社会を担う一員として、多様性を認め合いながら、社会を動かしていくため、各ライフステージの課題や伝統文化についての知識を身に付け、伝統文化を大切にしながら新しい創造ができる技術を身に付けている。<br>b:これからの社会を担う一員として、多様性を認め合いながら、社会を動かしていくための課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c: これからの社会を担う一員として、多様性を認め合いながら、社会を動かしていくため、各ライフステージの課題や伝統文化について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 | レポート | レポート | ワークシート<br><br>発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度